

## 画面で見るマニュアル

無線LANアダプター  
WHG-AC433US

### IEEE802.1x 認証環境へ接続する ..... 2

|                   |   |
|-------------------|---|
| シングルサインオンを使う場合の準備 | 3 |
| EAP-PEAP環境への接続方法  | 4 |
| EAP-TLS環境への接続方法   | 9 |

### ローミング感度を設定する ..... 15

|              |    |
|--------------|----|
| ローミング感度とは    | 15 |
| ローミング感度を設定する | 16 |

### 帯域を固定する (2.4GHz/5GHz) ..... 17

※ご案内している内容は本製品のドライバーをインストールした後の設定例です。  
事前に添付のサポートソフトのインストールを完了しておいてください。詳しくは添付の『セットアップガイド』をご覧ください。  
※本書でご案内している手順は設定例です。  
本書のとおりには設定できない場合や、設定内容に不明点がある場合は、ご利用のネットワークの管理者にお問い合わせください。  
※画面例：Windows 7

[【マニュアルアンケートはこちら】](#)

よりよいマニュアル作りのため  
アンケートにご協力願います。



# IEEE802.1x 認証環境へ接続する

IEEE802.1x 認証環境 (EAP-PEAP、EAP-TLS) への接続方法をご案内します。

## ▶ シングルサインオンを使う場合の準備 3

EAP 認証シングルサインオンをする場合は、まずこちらを設定してください。

## ▶ EAP-PEAP 環境への接続方法 4

EAP-PEAP 環境へ接続する場合は、こちらを設定してください。

## ▶ EAP-TLS 環境への接続方法 9

EAP-TLS 環境へ接続する場合は、こちらを設定してください。

### 動作環境

ネットワークの管理者の方は、以下の環境があることをご確認ください。

#### 【PEAP 認証をする場合】

- IEEE802.1x Radius Server (PEAP 対応認証サーバー)
- PEAP パススルー対応アクセスポイント (Wi-Fi WPA/WPA2 準拠のアクセスポイント等)

#### 【EAP-TLS 認証をする場合】

- IEEE802.1x Radius Server (EAP-TLS 対応認証サーバー)
- EAP-TLS パススルー対応アクセスポイント (Wi-Fi WPA/WPA2 準拠のアクセスポイント等)
- 認証局 (CA: Certificate Authority)

## シングルサインオンを使う場合の準備

シングルサインオンを使用する場合、ログオン画面で[Ctrl + Alt + Del] 画面を表示させる必要があります。

添付のサポートソフトを使って、下記の設定をしてください。

1 添付のサポートソフトをセットする

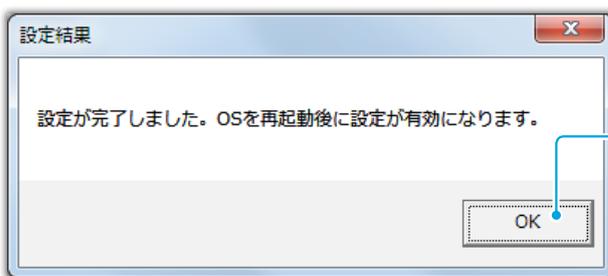
2 「コンピューター」などから、添付のサポートソフトの[CADEnabler] フォルダを開き、[IOCADKick.exe] を管理者権限で実行する

※ 本設定の解除は、もう一度[IOCADKick.exe] を管理者権限で実行してください。

※ 上記の方法で設定が解除できない場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。

※ シングルサインオンはWindows 7 Professional/Enterprise/Ultimate、Windows 8/8.1 Pro/Enterprise、Windows 10 Pro/Enterprise/Educationのみ動作します。

3



[OK] をクリック

4 Windows を再起動する

以上で設定は完了です。

**【EAP-PEAP 環境への接続方法】** (3 ページ) または

**【EAP-TLS 環境への接続方法】** (9 ページ) へお進みください。

# EAP-PEAP 環境への接続方法

IEEE802.1X接続

ローミング感度設定

帯域固定設定

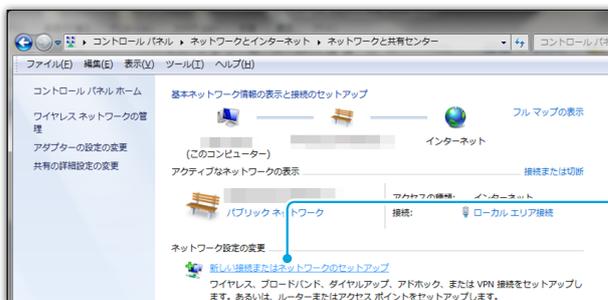
1 [コントロールパネル] を開く

2



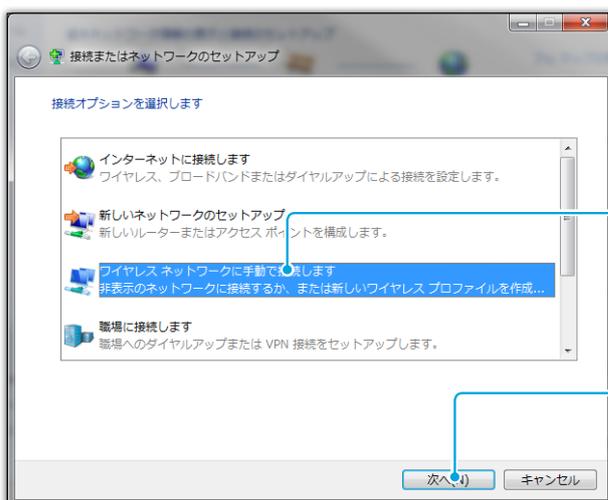
[ネットワークの状態とタスクの表示] をクリック

3



[新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリック

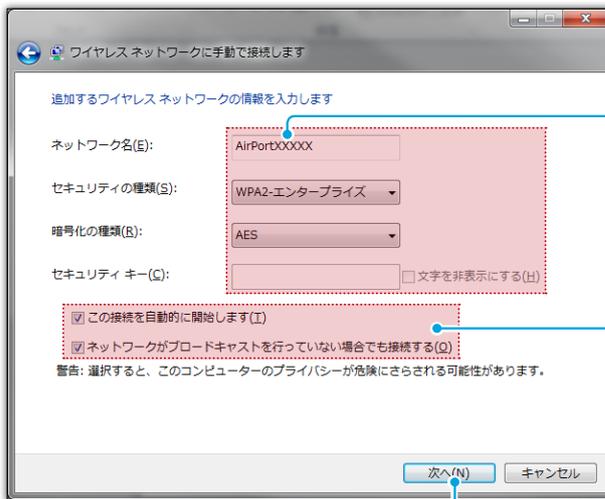
4



[ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選ぶ

[次へ] をクリック

5



ネットワークの設定をする

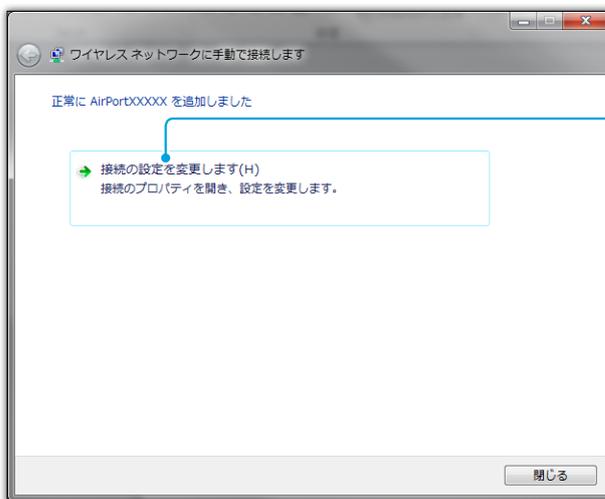
※ネットワークの設定については、ネットワークの管理者にご確認ください。

両方をチェックする

- この接続を自動的に開始します
- ネットワークが…場合でも接続する

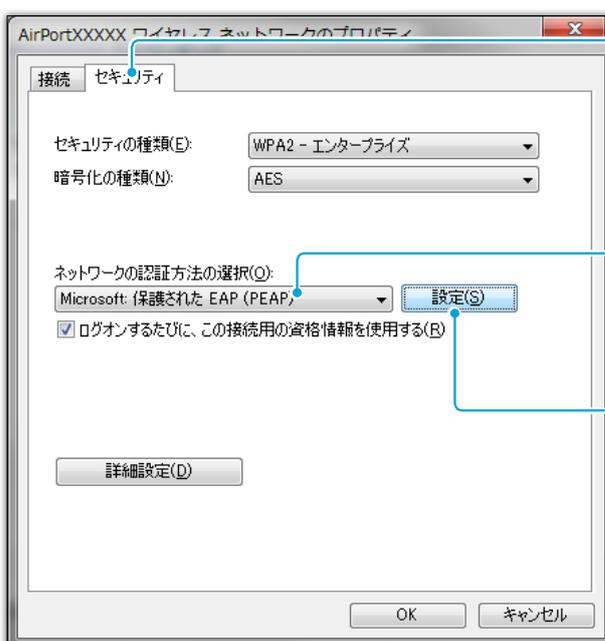
[次へ] をクリック

6



[接続の設定を変更します] をクリック

7

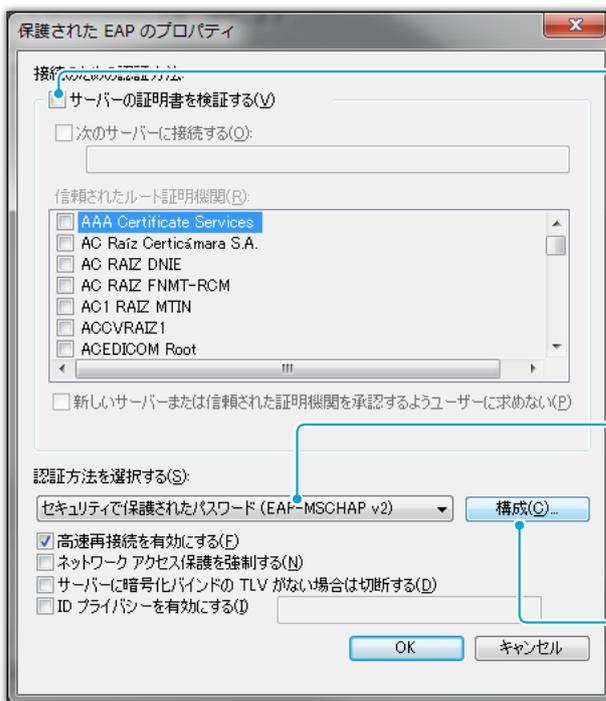


[セキュリティ] タブをクリック

[Microsoft に保護された EAP (PEAP)] を選ぶ

[設定] をクリック

8

**【サーバー証明書を使わない場合】**

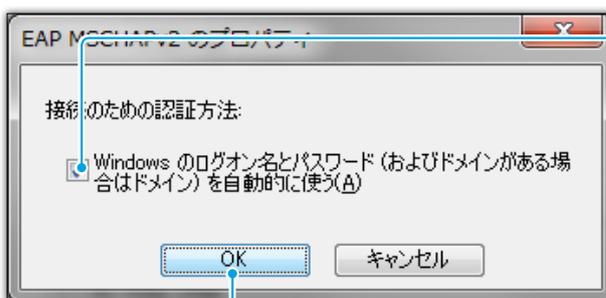
[サーバーの証明書を検証する\*] のチェックを外す

※ [証明書を検証してサーバーのIDを検証する] と表示される場合もあります。

[セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2)] を選ぶ

[構成] をクリック

9



[Windows のログオン名と…を自動的に使う]

**【シングルサインオンを利用する場合】**

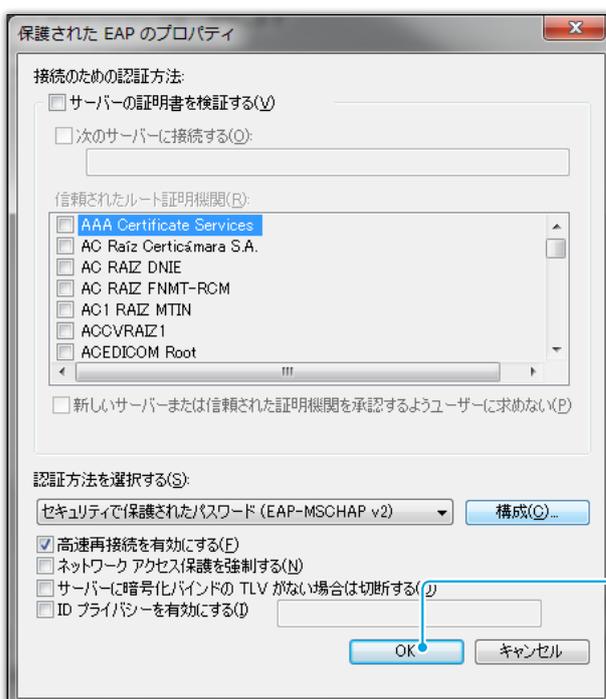
チェックする

**【シングルサインオンを利用しない場合】**

チェックを外す

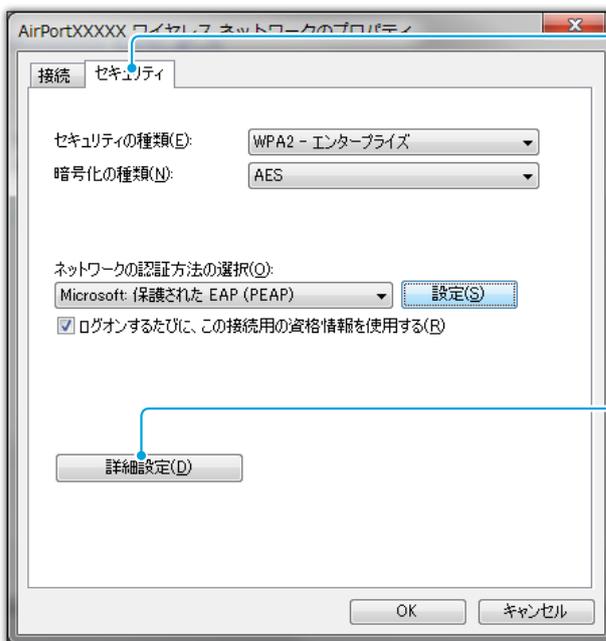
[OK] をクリック

10



[OK] をクリック

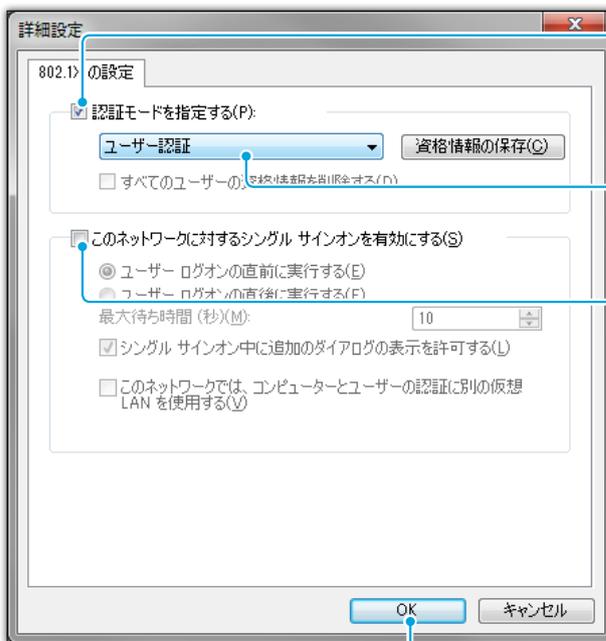
11



[セキュリティ] タブをクリック

[詳細設定] をクリック

12



[認証モードを指定する] をチェックする

[ユーザー認証] を選ぶ

[このネットワークに対するシングルサインオンを有効にする]

**【シングルサインオンを利用する場合】**

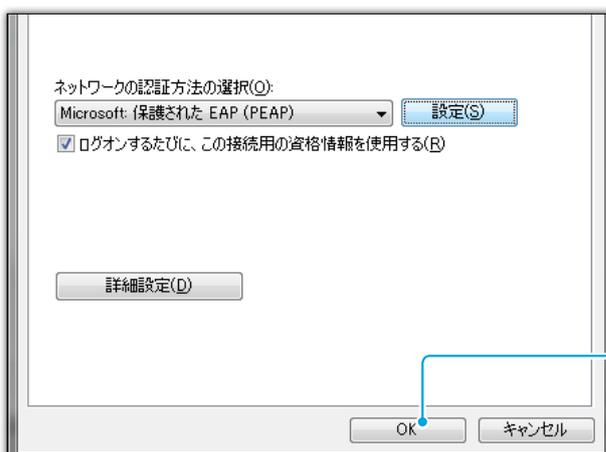
チェックする

**【シングルサインオンを利用しない場合】**

チェックしない

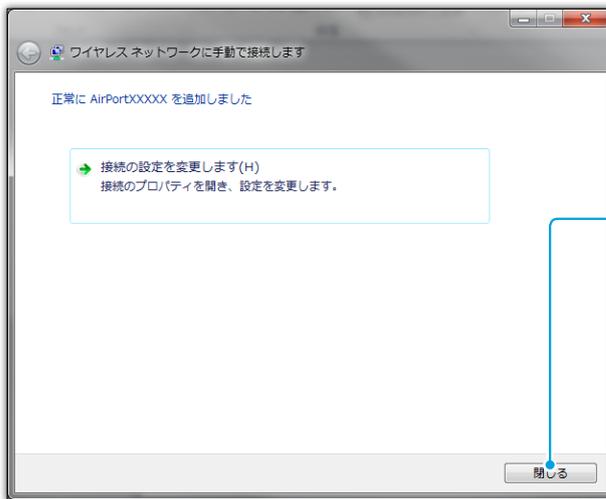
[OK] をクリック

13



[OK] をクリック

14



[閉じる] をクリック

**【自動的に接続された場合】**

設定は完了です。

**【自動で接続されなかった場合】**

次の手順へ進みます。

15

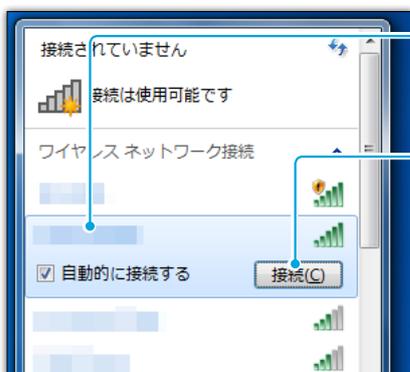
(Windows 8のみ)

マウスを画面の右上隅にかざしてチャームバーを表示し、[設定]  をクリック

16

画面右下の無線のアイコン(    など) をクリック

17

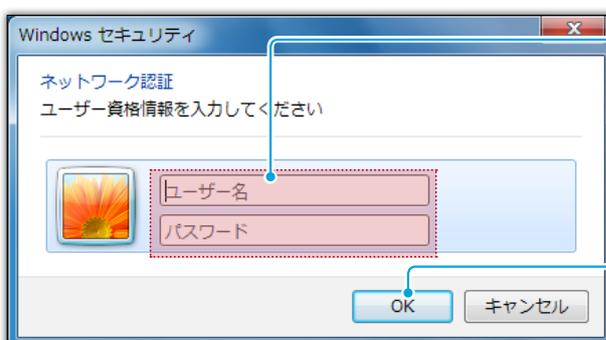


接続するネットワークを選ぶ



[接続] をクリック

18



ログオンするユーザー名とパスワードを入力する



[OK] をクリック

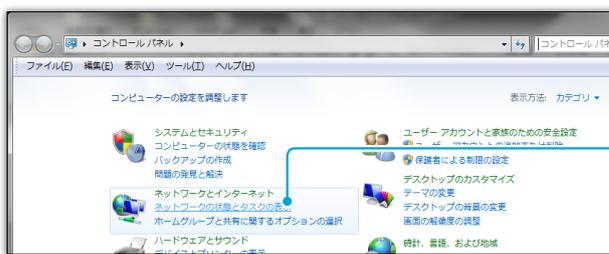
以上で、設定は完了です。

# EAP-TLS 環境への接続方法

- 1 ネットワーク管理者から証明書を配布してもらい、パソコンへインストールする  
※インストール方法については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

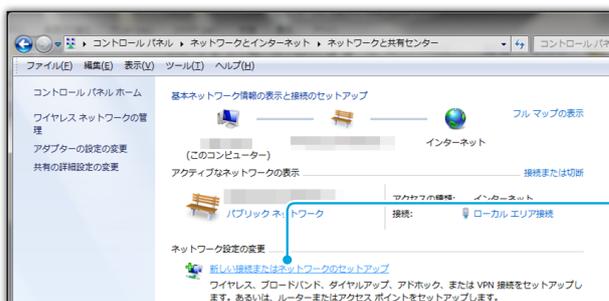
- 2 コントロールパネルを開く

3



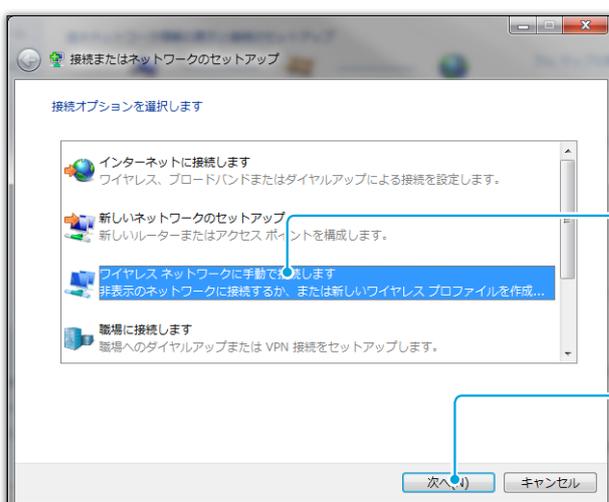
[ネットワークの状態とタスクの表示] をクリック

4



[新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリック

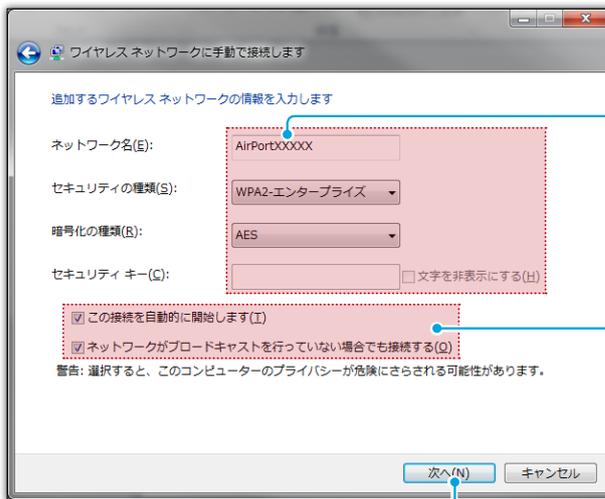
5



[ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選ぶ

[次へ] をクリック

6



ネットワークの設定をする

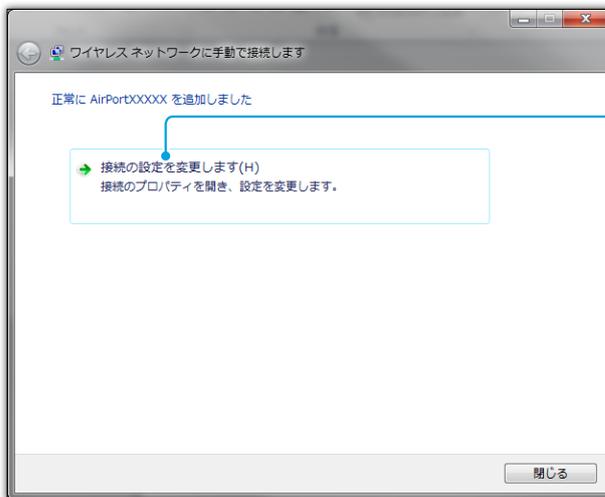
※ネットワークの設定については、ネットワークの管理者にご確認ください。

両方をチェックする

- この接続を自動的に開始します
- ネットワークが…場合でも接続する

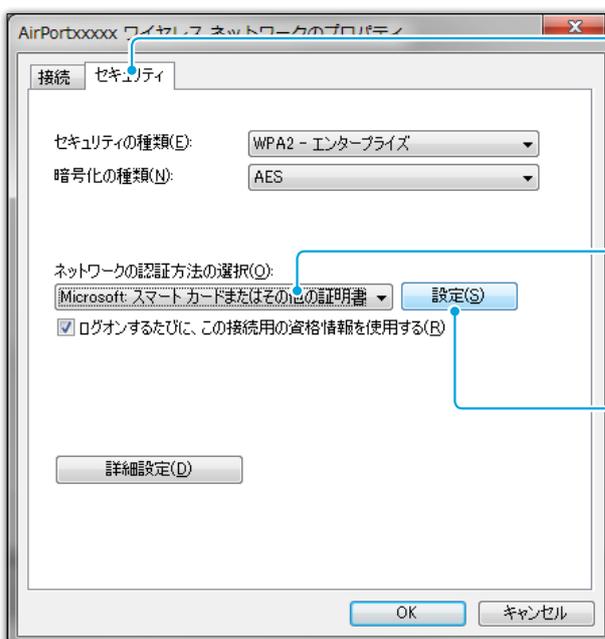
[次へ] をクリック

7



[接続の設定を変更します] をクリック

8

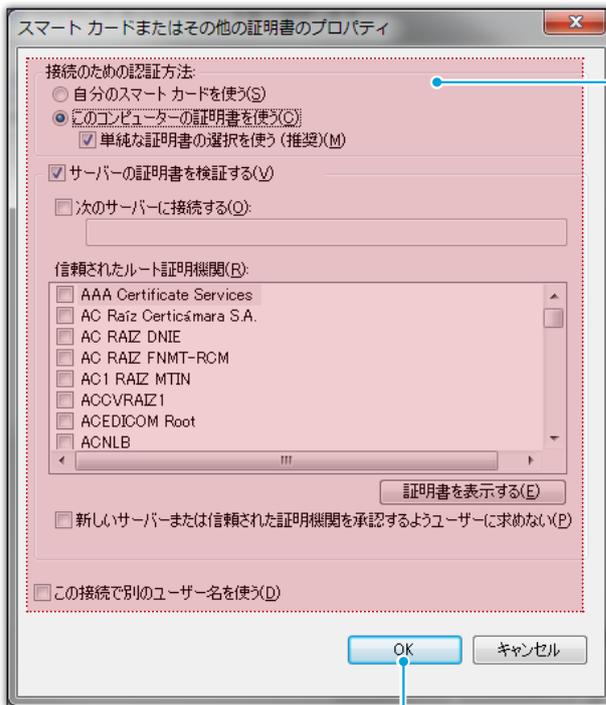


[セキュリティ] タブをクリック

[Microsoftスマートカードまたはその他の証明書] を選ぶ

[設定] をクリック

9

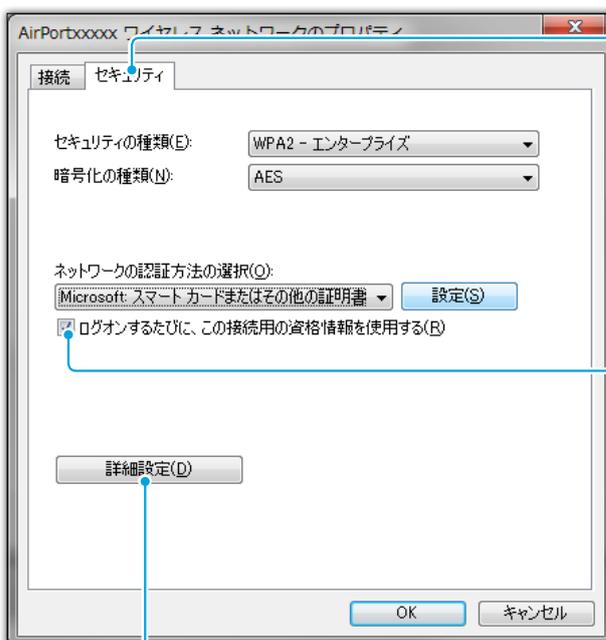


必要な項目を選ぶ

※選ぶ項目については、ネットワークの管理者にご確認ください。

[OK] をクリック

10



[セキュリティ] タブをクリック

[ログオンするたび、この接続用の資格情報を使用する]

【シングルサインオンを利用する場合】

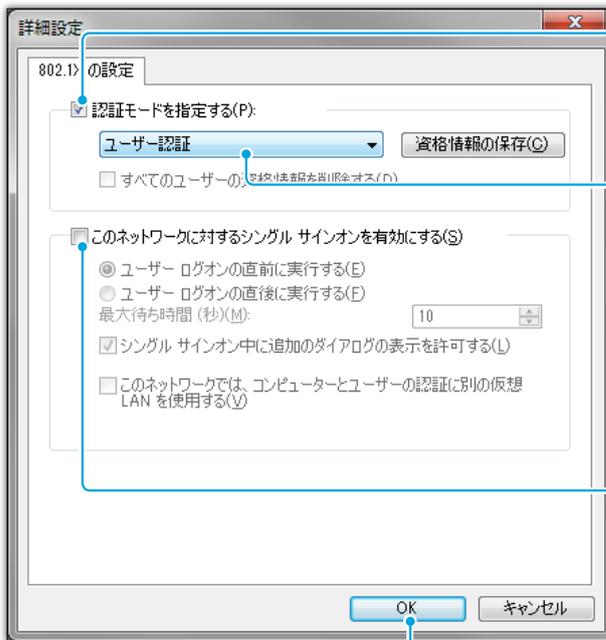
チェックする

【シングルサインオンを利用しない場合】

チェックを外す

[詳細設定] をクリック

11



[認証モードを指定する] をチェックする

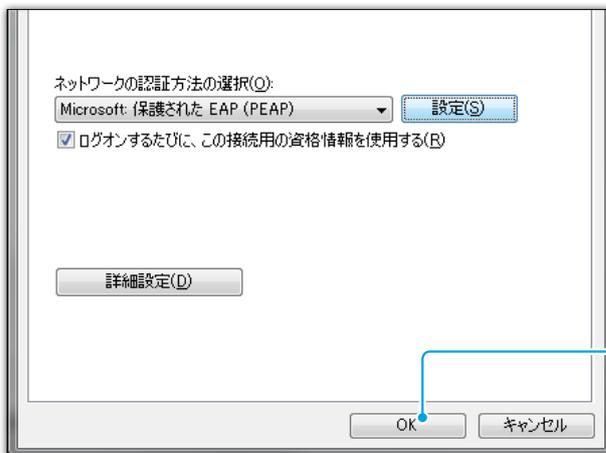
**【シングルサインオンを利用する場合】**  
[ユーザーまたはコンピューター認証] または [コンピューター認証] を選ぶ  
**【シングルサインオンを利用しない場合】**  
[ユーザー認証] を選ぶ

[このネットワークに対するシングルサインオンを有効にする]

**【シングルサインオンを利用する場合】**  
チェックする  
**【シングルサインオンを利用しない場合】**  
チェックしない

[OK] をクリック

12



[OK] をクリック

13



[閉じる] をクリック

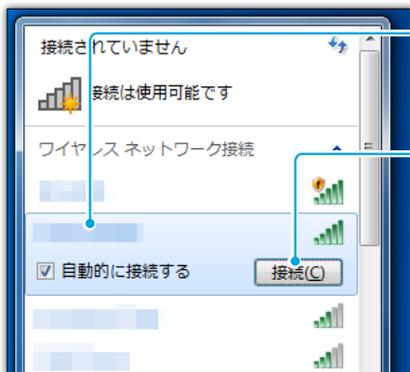
**【自動的に接続された場合】**  
設定は完了です。  
**【自動で接続されなかった場合】**  
次の手順へ進みます。

## 14 (Windows 8のみ)

マウスを画面の右上隅にかざしてチャームバーを表示し、[設定]  をクリック

15 画面右下の無線のアイコン(    など) をクリック

## 16



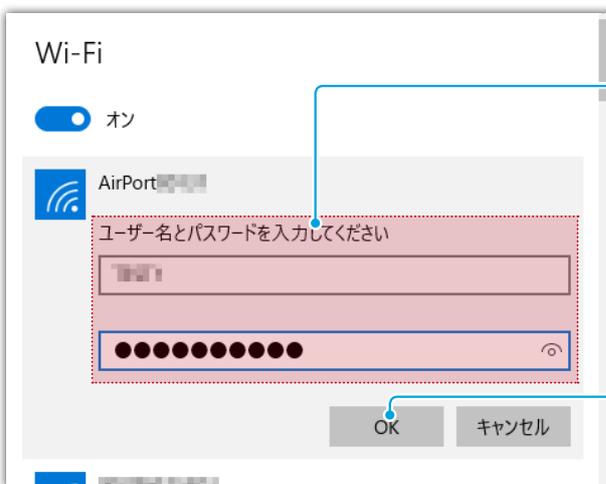
接続するネットワークを選ぶ



[接続] をクリック

## 17 Windowsにより手順が異なります。

## ▼Windows 10の場合



ログオンするユーザー名とパスワードを入力する

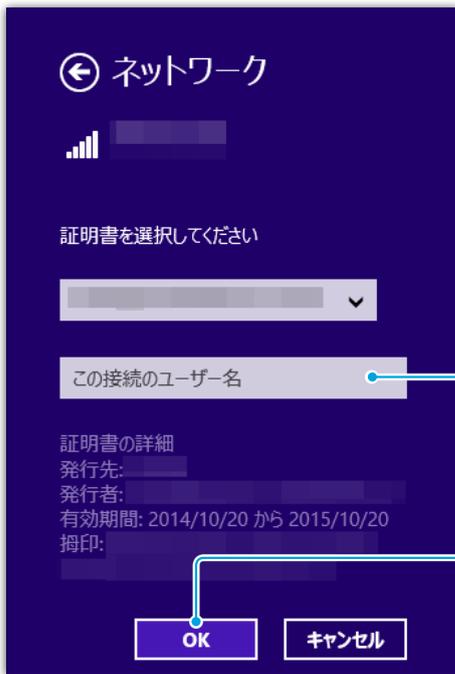


[OK] をクリック



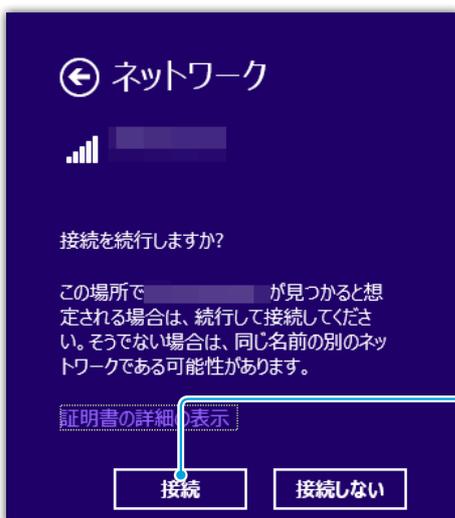
[接続] をクリック

## ▼Windows 8の場合



ログオンするユーザー名を入力する

[OK] をクリック



[接続] をクリック

## ▼Windows 7の場合



ログオンするユーザー名を確認する

[OK] をクリック

IEEE802.1X接続

ローミング感度設定

帯域固定設定

以上で、設定は完了です。

# ローミング感度を設定する

ローミング環境で、次のアクセスポイントへの切り換えやすさを設定します。

## ローミング感度とは

---

初期設定では、あるアクセスポイントに接続している状態から、電波状態が悪くなり、接続が切れたタイミングで、次のアクセスポイントに接続します。

そのため、環境によっては通信がほとんどできない状態でも、近くのアクセスポイントに切り換わらないことがあります。

ローミング感度を設定すると、程度に応じて電波状態が悪くなった時点で前のアクセスポイントとの接続を切断し、新しいアクセスポイントに接続するようになります。

ローミング感度を強くすればするほど、アクセスポイントを切り換えやすくなります。

# ローミング感度を設定する

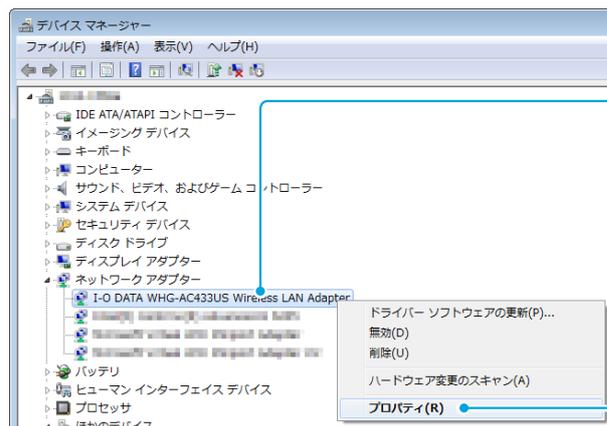
## 1 デバイスマネージャーを開く

Windows 10の場合：スタートボタンを右クリックし、[デバイスマネージャー] をクリック

Windows 8の場合：画面左下を右クリックし、[デバイスマネージャー] をクリック

Windows 7の場合：[コンピューター] を右クリック→[プロパティ] →[デバイスマネージャー] の順にクリック

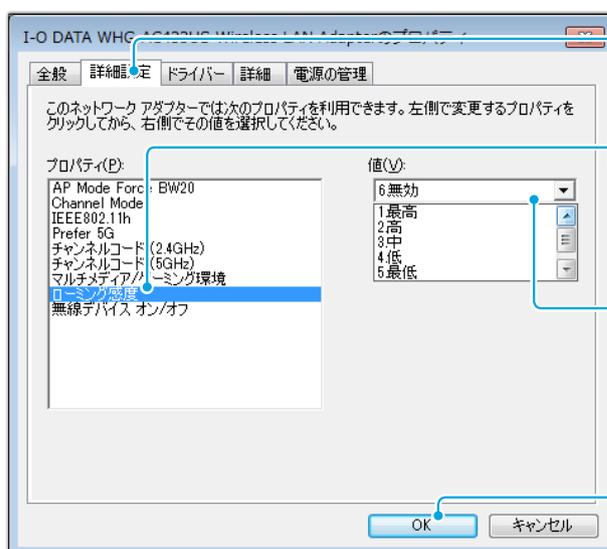
## 2



[ネットワークアダプター] → [I-O DATA WHG-AC433US...] を右クリック

[プロパティ] をクリック

## 3



[詳細設定] タブをクリック

[ローミング感度] を選ぶ

値を設定する

※ [1 最高] に近ければ近いほど、アクセスポイントを切り換えやすくなります。

[OK] をクリック

以上で、設定は完了です。

# 帯域を固定する (2.4GHz/5GHz)

2.4GHzか5GHzの片方の帯域だけを使うように設定します。

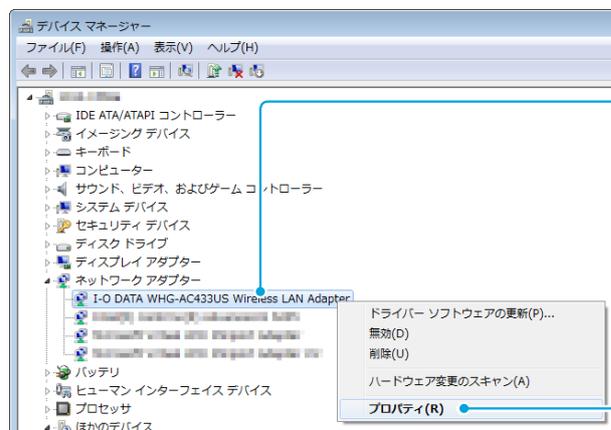
## 1 デバイスマネージャーを開く

Windows 10の場合：スタートボタンを右クリックし、[デバイスマネージャー] をクリック

Windows 8の場合：画面左下を右クリックし、[デバイスマネージャー] をクリック

Windows 7の場合：[コンピューター] を右クリック→[プロパティ] →[デバイスマネージャー] の順にクリック

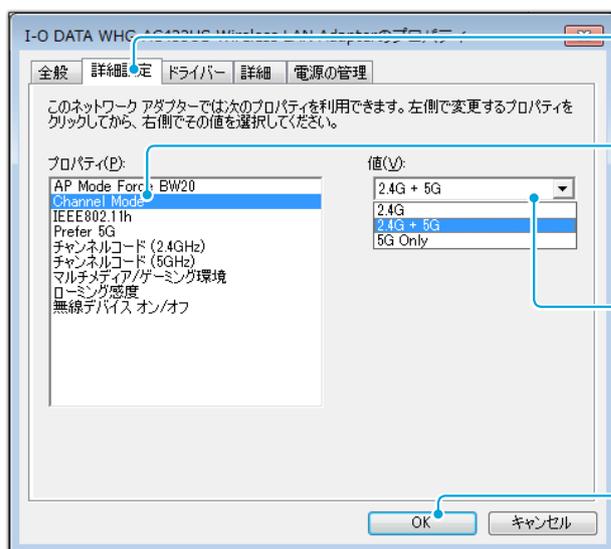
## 2



[ネットワークアダプター] → [I-O DATA WHG-AC433US...] を右クリック

[プロパティ] をクリック

## 3



[詳細設定] タブをクリック

[Channel Mode] を選ぶ

値を設定する

[OK] をクリック

以上で、設定は完了です。